



1 歓迎レセプション：高山様より桜の保全活動事業へ現金100万円と、ご自身が代表取締役を務める株式会社北辰水産の一目千本桜が描かれたラベルのサバの水煮缶詰1,200個を寄附いただきました

2 歓迎レセプション：柴田農林高等学校千桜部から高山様へ100年前に植樹されたシロヤマザクラのクローン苗が贈られました

3 式典：町から高山様へ感謝状と一目千本桜の記念写真を贈呈しました

4 植樹式：白石川堤「一目千本桜」植樹100周年記念植樹式参加者の記念撮影



桜まつり会場では
小学生英語ガイドが大活躍！

4月8日、ALT（外国語指導助手）から指導を受けた小学生10人が、外国から来た花見客をもてなしました。




5 植樹式：白石川右岸サイクリング・ウォーキングロードに5本の「大河原紅桜」を植樹しました。

6 同上の場所に昨年植樹した「大河原紅桜」が可憐に咲きました！



高山開治郎氏ご子孫 高山 信行 様
と 洋子 様ご夫妻

『千本桜を千年先へ』
(植樹100周年キャッチフレーズ)



一目千本桜の生みの親
高山 開治郎 氏

「一目千本桜」は大河原町出身の実業家高山開治郎氏が、故郷を桜の名所にすることを夢見て、大正12年（1923年）と、昭和2年（1927年）に桜の苗木約1200本を町に寄附したことが始まりです。そして、100年後の今年、開治郎氏が夢見た未来の通り、桜の名所となった一目千本桜のもとにはたくさんの方々の笑顔がありました。



▲大勢の花見客で賑わう桜まつり会場（4月1日）

▼桜まつり会場 ステージイベント（4月8日、9日）



HULA ナブアアリーフラハラウ



郷土芸能 小山田やすとこ



郷土芸能 堤神楽

4年ぶりのおおがわら桜まつりは、桜の開花が早まったため、予定より6日早い3月31日から4月13日までの14日間開催されました。会場となった白石川公園では、町内外はもちろん、国外からも大勢の花見客が訪れ、大いに賑わいました。今年は植樹をしてから100周年を迎える記念の年となり、4月8日、9日には「一目千本桜」の生みの親、高山開治郎氏のご子孫を迎え、植樹式などの式典が盛大に執り行われました。



和太鼓 鼓縁

『一目千本桜』の植樹から100周年を迎えた今年、「おおがわら桜まつり」が4年ぶりに開催されました

